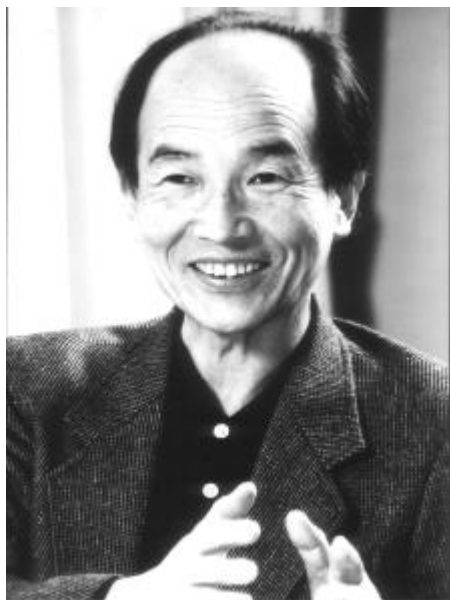




憲法を守ろう・市原市民連絡会 講演会  
『憲法 9条を子どもたちに』  
～ ある作家の体験から～

講師 早乙女 勝元 さん(東京大空襲・戦災資料センター館長)

と き 12月11日(日) 13:30開場 14:00開演  
ところ 市原市民会館小ホール 参加費500円(高校生以下無料)



早乙女さんは、ご自身の  
「人間としての執念のすべてを  
こめて」、東京大空襲を語り続  
けて来ました。

■「日本国は戦争をしません。軍隊をもちません。戦  
争する権利をもちません」と高らかに宣言した平和憲  
法を、前線から戻った将兵も焼夷弾の下を逃げまどっ  
た銃後の国民もこぞって歓迎しました。

■それから60年。朝鮮戦争をきっかけに生み落とされ  
た自衛隊は、戦力なき軍隊と揶揄されながら、世界有  
数の「軍隊」に成長しています。そして、武力行使を  
目的とする多国籍軍に参加し、国土全体が戦場と日本  
政府が認めるイラクに「派兵」されています。

■政府は、自衛隊の活動は人道復興支援であり、多国  
籍軍の武力行使命令には従わない、戦場にも非戦闘地  
域があると、苦しい言い訳をしています。なぜかとい  
えば、それは憲法9条があるからです。9条があるか  
ら、自衛隊は海外で武力行使ができないのです。米軍  
と一緒に戦争ができないのです。

■戦争をするとなれば、動員されるのは私たちの子で  
あり、孫です。私たちは子や孫に戦場に行けと言えま  
すか？ それとも、行かなくてよいように「勝ち組に  
なれ」とあおりますか？ そうではなくて、戦争のな  
い世界を築こうではありませんか！ その有効な手段  
である憲法9条を世界に広め、子どもたちに託し、軍  
事力に頼らない世界をつくらうではありませんか。

呼びかけ人(五十音順)

|                       |                     |
|-----------------------|---------------------|
| 飯高 和子 (書道家)           | 林 政子 (市原平和のつどい・代表)  |
| 石川 浩徳 (日蓮宗福増山本念寺住職)   | 原島 義治 (劇作家)         |
| 大木みつ子 (医療法人社団博瞳会常任理事) | 松下 佳紀 (画家)          |
| 齋藤 和夫 (大学講師)          | 守川 幸男 (弁護士)         |
| 中村 美彦 (市原地区労議長)       | 山川 建夫 (元フジTVアナウンサー) |

平和憲法の歌 発表会

作詞 松下佳紀  
作曲 鶴 英勝

主 催 憲法を守ろう・市原市民連絡会  
(9条の会いちらは)

事務局 市原地区労内(TEL& FAX 0436-21-5473)  
U R L <http://homepage2.nifty.com/i-tikurou/>  
M A I L [i-chikurou@point.ne.jp](mailto:i-chikurou@point.ne.jp)  
郵便振替 00120-8-540357